

そっ けん

# 息軒だより



発行 宮崎市安井息軒記念館  
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会  
理事長 若友 弘子 館長 川口 眞弘  
〒889-1606  
宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378-1  
e-mail: sokken.yasui@pic.bbq.jp  
http://yasuisokken.qcweb.jp/

所在地 宮崎市清武町加納甲 3378-1 電話 : 0985-84-0234 FAX: 0985-84-2634

## 平成30年度 夏企画 7月21日(土)～9/2(日) 9:00～16:30(月曜休館) 安井息軒とその周辺の人々の書



本館には安井息軒の書を一点展示しています。これは73歳の正月に書いた書初めて「がぜん」と読みます。ただしこの書は複製で、実物は息軒が69歳の時に疎開した埼玉県川口市東領家の高橋家の所蔵となっています。

その他、旧宅にも一点展示させていただいていますが、これは湯島聖堂所管の書をコピーさせていただいたものです。本館には息軒の書簡や関連する衣装、調度、写真やパネル等は展示していますが、真筆と思われる書は展示しておりません。

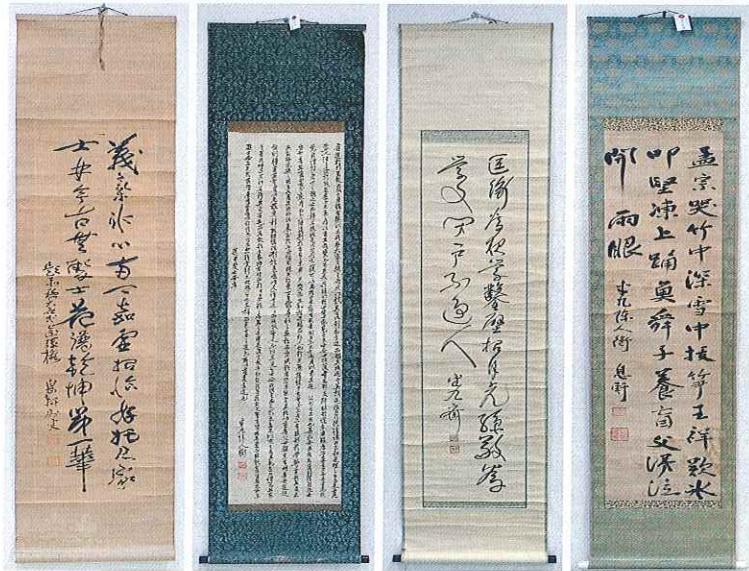
しかし、本館には息軒の自筆ではないかと思われる書が4点あります。今まで一度も公開したことがありませんでしたが、この度一気に公開することにしました。

解説の方は郷土史家の甲斐亮典先生にお願いしましたが、その奥深い内容と書体、落款(らっかん)等から考えると、いずれも自筆の書と考えてもおかしくありません。今年の2月に熊本の尚綱(しょうけい)大学の書道部の皆様が視察に訪れ、二人の顧問の先生にも見ていただきましたが、書体の変化こそあれ、息軒の自筆と言っても過言ではないとのことでした。

### 初公開の安井息軒息軒の書!!

さらに大変有難いことに、旧飢肥藩は本家本元の日南市飢肥はもとより、息軒が生まれた宮崎市清武町中野も旧家がかかり残っており、偉人の書や調度等が大切に保管されています。今回はそうした中から飢肥の旧家・名家から一軒、さらに清武の旧家の一つであります右松幸一様のお宅から息軒と関連する方々の書をお借りして展示させていただくことになりました。

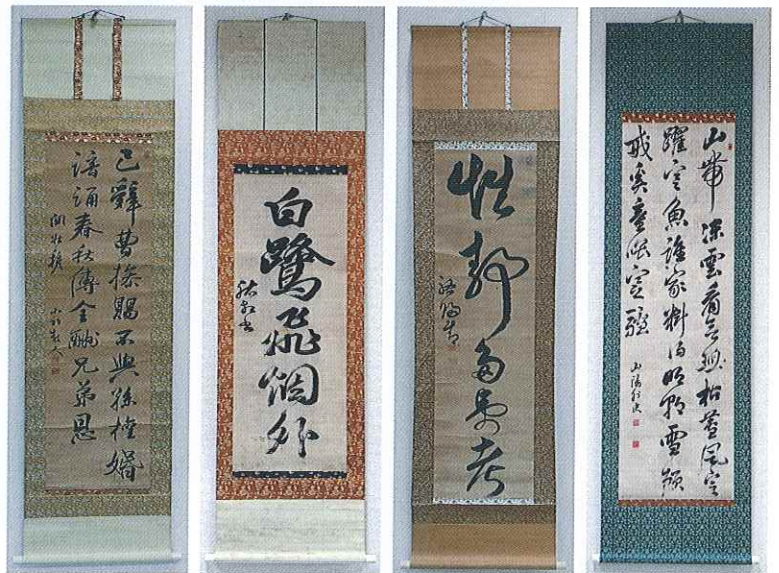
左から息軒が江戸の泉岳寺赤穂浪士の墓を訪れた印象を詠った書、故郷出身の弟子を送る書等で息軒の奥深さと人となりに触れることができます。



下段の一番左は前述の息軒の師、篠崎小竹の書、二番目は息軒が飢肥藩を離れて後も信頼して尽くした13代藩主、伊東祐相(すけとも)の書です。続いて祐相亡き後仕えた祐帰(すけより)の書、最期は何と息軒の先輩であり、ライバルでもあった頼山陽の書です。

このほか弟子の一人で、息軒を昌平坂学問所の教授に推挙した秋月種樹(たねたつ)、息軒の先輩に当たる落合雙石(そうせき)等、所縁の方々の書を展示します。

是非ご来館の上、優れた書を直にご覧ください。



篠崎 小竹の書

伊東 祐相の書

伊東 祐帰の書

頼山陽の書